



地震が起きたら

パニック状態になったときに、とっさの判断は難しいものです。次のことを参考に避難を心がけてください。

1 まず、身を守る

机の下などにもぐり、身を守りましょう。



2 かならず火の始末

コンロなどの火を消す。火が出ても落ち着いて初期消火。



3 出口を確保

家が傾いてドアが開かなくならないように、すばやく窓や扉を開けましょう。



5 情報確認

近所の人と声をかけ合って安全を確かめ、ラジオなどから情報を集めましょう。



安全なら…

4 わが家の安全確認

火災、家屋の倒壊の危険やガス爆発等、2次災害の兆候はないか。



危険なら…

自主防災組織
に参加
28Pへ

避難場所へ急ぐ!!
24P~25Pへ

「わが家の防災メモ」
を確認しましょう
裏表紙へ

避難は徒歩で、持ち物は少なく

動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
ガスの元栓を閉め、
電気のブレーカーを切る。
家族への連絡メモをのこす。



大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。



物につかまらなると歩くことが難しい。



立っていることが困難になる。



はわないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。



耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。